

第5章

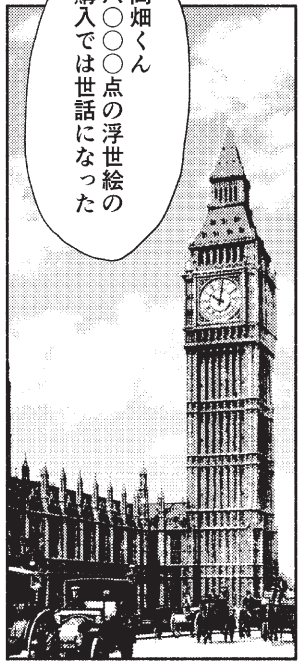
ロンドンにてKライン設立、カイゼル高畑とゴルフ



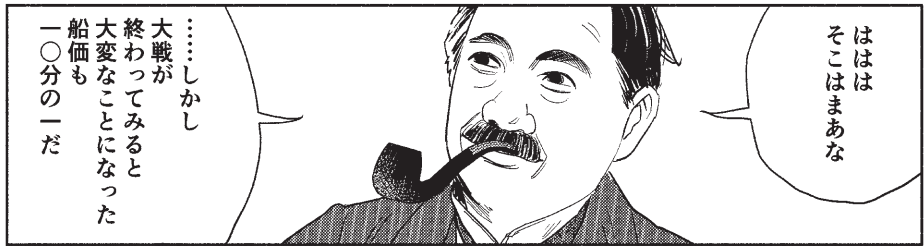


よくドイツに見つからずに輸送できましたね 美術商の山中商会も驚いていたでしょう

おかげで江戸時代に日本から流出した名画を取り戻すことができた あの大金を立て替えられるのは鈴木商店くらいしかないからう



高畑くん 八〇〇〇点の浮世絵の購入では世話になった



はははそこはまあな

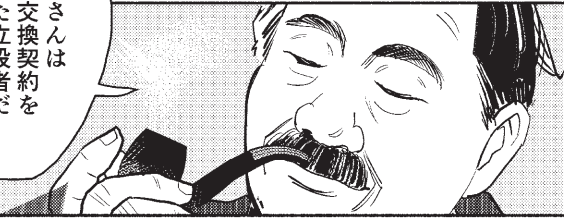
……しかし 大戦が終わってみると大変なことになった 船価も一〇分の一だ



皆が一致団結して難局を乗り越えるため 金子さんが 松方さんの川崎造船所と鈴木商店の帝国汽船など 九社の船を纏めて 国際汽船を設立しました

しかも 政府にも出資させ 金子さん自ら会長に就任したらしいです 船舶保有量で 日本郵船・大阪商船に次ぐ 第三位ですって

金子さんは
船鉄交換契約を
纏めた立役者だ
この救世主の意見は
誰もが従うだろう
発想と人を巻き込む力
今の日本で金子さんに
太刀打ちできる人は
おるまい

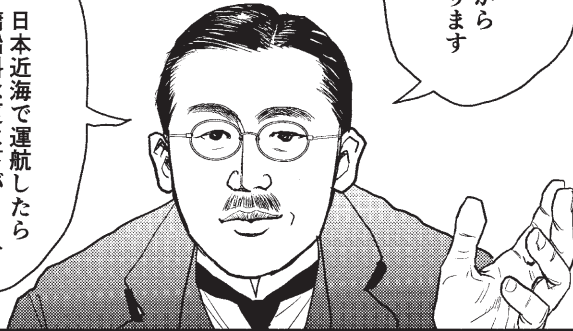


ここで
さらに私から
提案があります

!



日本近海で運航したら
備船料は更に下がります
余剰船舶をこの大西洋で
共同運航するので
川崎造船所、川崎汽船、
この国際汽船の
三社合同で……
いかがでしょうか？



おう
さすがは
カイゼル高畑だ！

社名は三社の
頭文字からとって
Kラインとしよう
オペレーションの責任者は
高畑くん君がやりたまえ



お任せください





